

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2021年9月13日（月）18時00分～19時10分

場 所：京都産業大学・京都大学（オンライン開催）

出席理事：山本、太田、久保田、町田、鈴木、酒向、鹿野、長瀧、江草、古澤、富田、生田、米原、深沢、西、北本、馬場、山村

出席監事：奥村、花岡

また、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が18名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2021年6月12日）の理事会議事録が報告され、承認された。

II. 議題

II-1. 新規加入者および移籍（準 → 正）の承認（資料3、鈴木）

2021年6月11日～2021年9月7日までに正会員入会申請63名、準会員入会申請18名、移籍（準 → 正）1名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-2. 監査報告書（監事意見書）の公開の可否について（資料なし、山本）

これまで監査報告書および監事意見書（付帯している場合）は請求があった場合に公開する対応としていたが、情報公開の重要性の観点から、2020年度分からは請求が無くとも、監査報告書と監事意見書を日本天文学会ウェブページで公開することが、賛成多数で承認された。本件は引き続き代議員総会での議題となる。

II-3. 定款・代議員総会細則の改正に関する方針について（資料4、山本）

2020年度監事意見書において、代議員総会議事運営方針を明確化するべきであるとの意見が出された。これらを踏まえて(i)代議員総会議長の役割、(ii)委任状の扱い、(iii)動議の扱い、(iv)3分の2(特別決議)の可決要件の4点に関して明確化した細則の改訂案、および、(iv)に関する定款の改正案が提案された。これに対して、委任状は代議員に対する包括的な委任だけでなく、議題毎への意見表明を反映させることも検討して欲しいとの意見が出されたが、議題確定が直前となることが多い現状では実務的には包括委任が現実的であるとの返答がなされた。しかしながら、今後は議題確定を早め、かつ委任状提出メ切を遅らせることで、議題毎への意見表明ができるよう改善することが必要である。詳細な文言についてはさらに詰める必要があり、最終確定の前には監督官庁への照会も行う予定である。以上の議論を踏まえ、今後2回の代議員総会で議論して、細則の制定と定款の改正を目指す方向性が賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 移籍・退会等の報告（資料2、鈴木）

2021年6月11日～2021年9月7日までに正会員退会7名、準会員退会5名があったことが報告された。

III-2. ネットワーク委員会報告、および、Tennet アーカイブについて（資料5、生田/山本）

前期の天文学会ウェブの大幅更新を受けて、今後の保守運営の方針が報告された。特に、Tennet 運用では特定の管理者に負荷が掛かっていることを踏まえ、メーリングリスト運用のアウトソーシングを念頭に、今後のTennet 運用のための検討ワーキンググループを立ち上げたことが報告された。他に、近日中(9/16に2時間程度の予定)にウェブサイトのメンテナンスによるウェブ更新の停止が発生することと、記者発表を今後ウェブのトップページに掲載する方針であることが報告された。

III-3. 天文教育委員会からの報告（資料6、富田）

(i) 年会中に開催された天文教育フォーラムが30周年60回目となったこと、(ii) 講師紹介プログラムに多数の会員が登録され順調に運営されていること、(iii) 監修者照会プログラムに2件マッチングがあったこと、(iv) 男女共同参画委員会と協働し女子中高生夏の学校への協力したこと、(v) IAU OAEの天文教育コーディネーターのウェブが効果的に整備、運用されている状況が報告された。

III-4. 年会報告（資料7、古澤）

(i) 秋季年会の進行状況が報告された。年会終了後にオンライン開催へのフィードバック等のアンケート実施予定である。(ii) 2022年春季年会(3/2水-5土)を準備中であり、開催方法(オンライン、ハイブリッド、対面)は10月中旬までに決定する予定である。(iii) ジュニアセッションは高校の学事暦を考慮し、年会本体と日程を切り離し3/19土にオンライン開催予定である。(iv) 発表賞の設置について年会実行委員で検討中である。

III-5. PASJ 理事（資料8、長瀧）

(i) Impact Factor が過去最高の5.071となったこと、2018年に刊行したHSC特集がIF値上昇に大きく寄与した事が報告された。さらに、出版社からの提案により、注目された論文がPASJウェブで公開されている。(ii) 2022年にSKAJPの特集号が出版予定であり、安東編集委員を代理編集長とし、他3名のゲスト編集者を加え、論文審査が進んでいることが報告された。(iii) Letters論文の上限頁数の対象とする部分を第一章から引用文献までとし、概要を含むタイトルページを除く方針とすることが報告された。これは、昨今著者数が多く著者名だけで大幅な頁数を占める論文が増加してきたことへの対応策である。(iv) オープンアクセス論文の料金の改定(3%値上げ)を、会計理事にも確認を取りつつ対応したことが報告された。(v) 特定の事務所員へ負担が集中していることを踏まえ、新たなパート職員の雇用について検討中であることが報告された。

III-6. 月報報告（江草）

月報記事のSAO/NASA ADS掲載対応の追加予算が承認され、更新作業の再開にむけて準備を開始したことが報告された。

III-7. 事務所の近況報告（佐藤良）：

特になし。

III-8. その他：

前期理事会で検討され保留となったスターリンク衛星に対する声明は、今後タイミングを見計らって検討することとする。また、天文学会 Web ページに、日本学術会議天文学・宇宙物理学分科会 IAU 分科会のページへのリンクをはることが提案された。

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 公益社団法人日本天文学会理事会（2021 年 6 月 12 日）議事録（案）

資料 3 加入者の承認、移籍の承認・報告、退会の報告

資料 4 代議員総会議事細則（案）、および、日本天文学会定款 改正案（Ver. 1）

資料 5 ネットワーク委員会報告

資料 6 天文教育委員会より、前回理事会（2021 年 6 月 12 日）以降の活動報告

資料 7 日本天文学会理事会 2021 年 9 月 年会実行委員会活動報告

資料 8 PASJ 編集委員会からの報告

2021 年 9 月 13 日

会 長：山本 智 印

副会長：太田 耕司 印

副会長：久保田 あや 印

監 事：奥村 幸子 印

監 事：花岡 庸一郎 印